

津看護専門学校 自己点検・自己評価

平成14年3月の「専修学校設置基準」の改正により、専修学校は教育活動の状況について自己点検及び自己評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならないと定められました。また、平成23年3月には「看護師等養成所の運営に関する指導要領」の改正により、養成所は教育活動その他の養成所運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表することとなりました。

本校においても平成24年8月から自己点検・自己評価委員会を立ち上げ、自己点検・自己評価を体系化し検討してきました。改めて本校が実施してきた教育や運営状況を振り返り、質の向上を求めていくことが必要であると考え、自己点検・自己評価を実施し、その結果をとりまとめましたので公表します。

評価は、看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会の看護師等養成所の自己点検・自己評価のための指針と点検項目を参考に本校の状況を踏まえて、IからIXカテゴリーに分類した152項目について行いました。評価基準を、「当てはまる(3点)」「やや当てはまる(2点)」「当てはまらない(1点)」として実施しています。平成25年度は、教職員会議での評価となり、平成26年度については、教職員会議での評価を経て、学校運営協議会にあたる教務委員会で報告、協議しましたので、これを最終評価としました。

I.学校経営 (2.7点)

養成所としての社会的説明責任を果たすためには、自己点検・自己評価の一環として、評価結果を公表する機会を設定することが必要である。平成26年度は、学校運営協議会にあたる教務委員会で報告、協議する機会の設定が出来たことが評点の上昇に繋がった。又、各会議を定期的かつ効果的に実施出来るようになったことも評点の上昇に繋がったと考えられる。

II.教育課程・教育活動 (2.3点)

学校経営の核となる項目であるが、平成25年度の評点(2.2点)と比較しても大きな変化はなかった。教育課程検討委員会を継続的に開催していることやシラバスの妥当性を点検、確認している点については改善された。今後の課題として、実習環境・指導体制におけるカンファレンスルームの整備や実習指導者の固定(1週間程度)などがあるが、全体的に「やや当てはまる」の評価結果が多い。これは、教育課程・教育活動の現状が未だ不十分であると考えられ、何が不足しているのか詳細に分析し、対策を講じていくことが必要である。

III.入学・卒業対策 (2.7点)

平成25年度と同様、評価領域の中では高い評点となった。平成25年度の評点(2.8点)より若干下がったのは、国家試験の合格率や、中途退学者に関することが影響している。効果的な国家試験受験対策の実施や中途退学者を少なくするために、学生個々に対する支援を強化していくことが必要である。入学応募者の確保については、今後も積極的な取り組みを継続していく。

IV.学生生活への支援 (2.5点)

平成25年度の評点(2.5点)と同じであった。学生の進学、就職のための面接、論文指導が充分には出来ていないことや、卒業生の就職先での評価把握の不十分さがあり、今後取り組んでいく課題である。

V.管理運営・財政 (2.8点)

評価領域の中では、一番高い評点となった。平成 25 年度の評点(2.6 点)よりも高くなったのは、計画的に設備整備が実施できたことや、危機管理体制としてマニュアルの見直しや、災害用の備蓄が行えたことである。課題としては、個人情報保護のガイドラインの周知や倫理委員会の設置があり、周知のための具体策や本校の状況に即した委員会の設置を検討していく。

VI.施設設備 (2.3点)

平成 25 年度の評点(2.3 点)と同じであった。教育内容にふさわしい教材の整備や、図書は計画的に新刊書を購入することが継続して出来ている。課題としては、校舎内のバリアフリー化や車椅子での移動のためのスロープやエレベーター、障害者用トイレの設置、授業で使用するパソコンの台数について等である。現在の課題が解決できるように整備計画を検討していくが、それまでは、ソフト面での対応をしていくことが必要である。

VII.教職員の育成 (1.5点)

平成 25 年度の評点(1.3 点)よりも若干、高くなった。課題に沿った職場内研修を実施出来たことや臨床研修に積極的に参加したこと、研究活動を継続したことが評点の上昇に繋がった。教員間の授業批評や専門領域認定の受験支援体制が、昨年度来の課題である。

VIII.広報 (2.2点)

平成 25 年度の評点(1.6 点)よりも高くなった。ホームページの内容改善が出来たことや、平成 26 年 4 月からフェイスブックで主な年間行事の様子を中心に、リアルタイムで紹介していることが評点の上昇に繋がった。ホームページについては、学生専用のページを作成していくことを検討していく。

IX.地域との連携 (2.2点)

平成 25 年度の評点(1.8 点)よりも若干、高くなった。地域との協力関係において、オープンキャンパスに地域住民の方々の参加があったことや、平成 25 年度から継続して地元町会主催の行事に学生と教員が参加していることも評点の上昇に繋がった。学校施設の開放が課題であるが、地域からの要請があれば駐車場の開放を行っている状況であり、必要に応じて検討し、開放していきたい。

